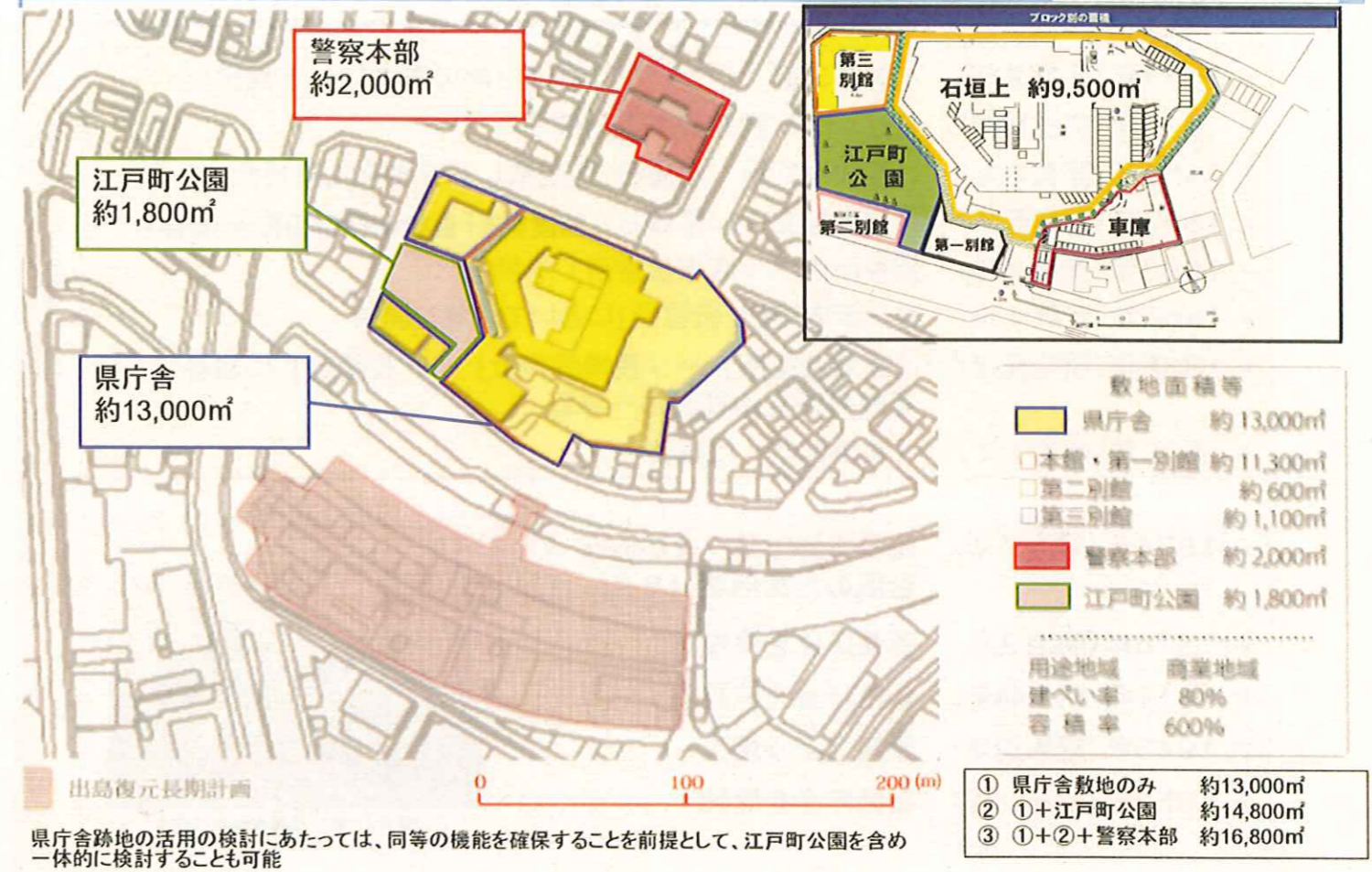


県庁舎の跡地活用について

長崎県企画振興部
まちづくり推進室

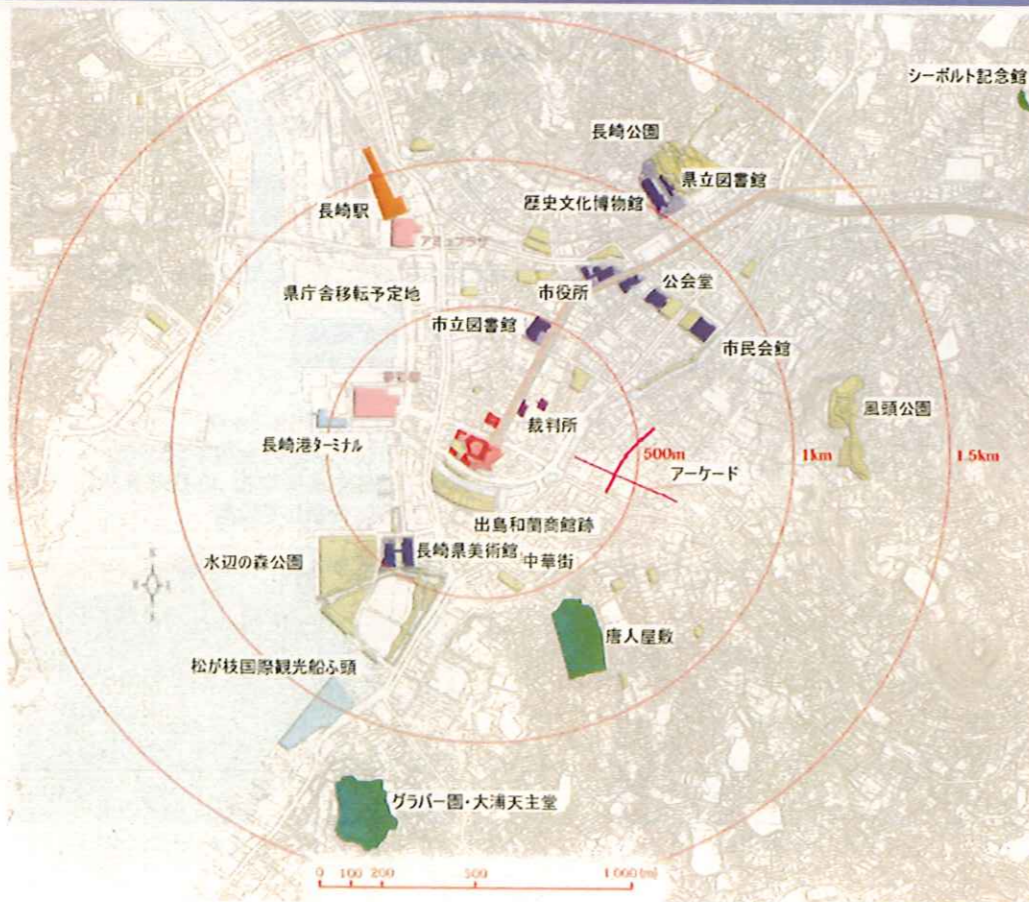
県庁舎の跡地活用の検討対象

資料5

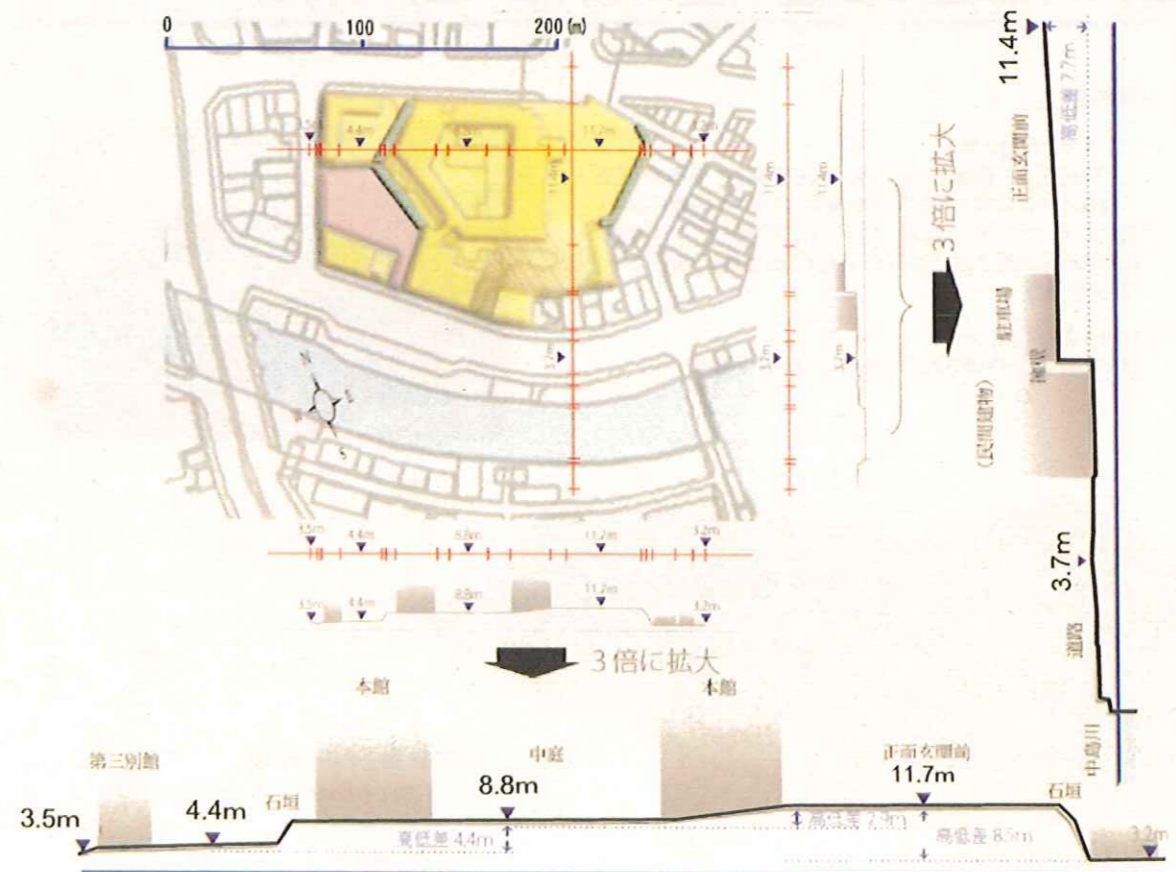


都市構造の中での位置

～ 都市構造上、町の中心となっている場所～



地形（断面図）～敷地内で7m以上の高低差～



現庁舎敷地の変遷

- 1571年(元亀2年) イエズス会「サンパウロ教会(岬の教会)」を建設
- 1614年(慶長19年) キリシタン禁教令により破壊
- 1663年(寛文3年) 「長崎奉行所(東屋敷、西屋敷)」を現在地に再築
- 1673年(延宝元年) 東屋敷を立山に移設し、西屋敷を「長崎奉行所西役所」と称す
- 1855年(安政2年) 西役所内に「海軍伝習所」を開設
- 1857年(安政4年) 西役所内「医学伝習所」において講義を開始
- 1868年(明治元年) 「長崎会議所」→「長崎裁判所」→「長崎府」に改称
長崎府が立山役所跡へ移転
- 1869年(明治2年) 「長崎県庁」に改称

- 1874年(明治7年) 西役所跡に県庁舎が開庁(7月)
台風のため倒壊(8月)
- 1876年(明治9年) 新県庁舎を建設
- 1911年(明治44年) 新県庁舎を建設
- 1945年(昭和20年) 原爆により焼失
- 1953年(昭和28年) 新県庁舎を建設



明治44年に建設された県庁舎

江戸町周辺の変遷(江戸時代)

◆「長崎奉行所西役所」

- 1592年(文禄元年) 安土・桃山時代、豊臣秀吉が後の長崎奉行所を開設
場所は本博多町(現在の万才町)
- 1633年(寛永10年) 長崎奉行が2人制となり、奉行所を東西二つの屋敷(東屋敷、西屋敷)に分割
- 1663年(寛文3年) 寛文の大火により焼失後、外浦町(現在の江戸町)に奉行所(東屋敷、西屋敷)を再築
- 1673年(延宝元年) 立山屋敷(立山役所)を設置し、東屋敷を移設以降、旧役所を「西役所」と称す



1673年頃の「長崎奉行所西役所」と「出島」

◆「海軍伝習所」

- 1855年(安政2年) 江戸幕府が、海軍士官養成のため、長崎奉行所西役所内に設立した教育機関
幕臣や雄藩藩士から選抜して、オランダ人教師によって西洋技術・航海術・蘭学・諸科学などを学ばせる
- 1857年(安政4年) 西役所「医学伝習所」において講義を開始



1858年頃の「海軍伝習所」と「出島」

江戸町周辺の変遷(室町時代～江戸時代)

◆「岬の教会」

- 1571年(元亀2年) 大村純忠が「森崎」の地に町づくりを開始。6町が成立(島原町・分地町・大村町・外浦町・平戸町・横瀬浦町)
新しい町がつけられた時、フィゲイレド神父(イエズス会:キリスト教の宣教師)は町の突端の波止場の傍らに小さな聖堂を建設
- 1614年(慶長19年) 岬の教会が破壊される(慶長・元和の大破却)



「岬の教会」イメージ図

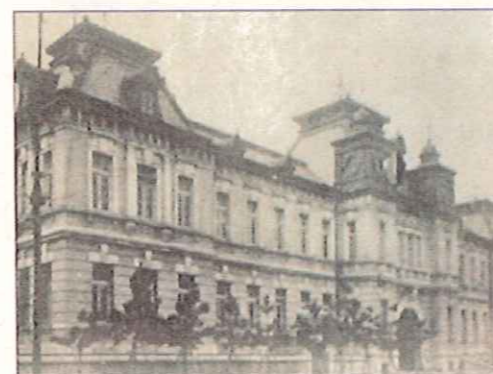
(出典:旅する長崎学1 キリシタン文化1)



江戸町周辺の変遷(明治～昭和)

◆県庁舎の変遷

- 1874年(明治7年)7月 西役所跡に県庁舎開庁(洋風木造2階建て)
- 1874年8月20日 暴風のため新庁舎が倒壊
勝山小学校の一部に仮庁舎を設置
- 1876年(明治9年) 新庁舎の再建に着手して同年12月完成
- 1910年(明治43年) 県会議事院が完成
- 1911年(明治44年) 県庁舎が完成
- 1945年(昭和20年)8月9日 原爆のため県庁舎と県会議事院が焼失
仮事務所を県立高等学校(旧長崎東高校)と勝山国民学校等に分散して設置



明治44年に建設された県庁舎



長崎港から見た県庁舎



原爆で焼失した県庁舎(昭和20年8月)